



## 第1945回 例会

2014-15年度RI会長: Gary C.K.Huang  
第2640地区ガバナー: 辻 秀和  
創立: 昭和49年5月15日  
会長: 谷中 順次郎  
幹事: 岡本 博  
会報: 稗田 智則



VOL41 No. 10

2014年 9月10日 (水)

事務所: 田辺市下屋敷町81-10  
きのくに信用金庫田辺支店3F  
Tel 0739-24-6427 Fax 0739-34-5008  
E-mail t-eastro@mb.aikis.or.jp  
例会: 毎週水曜日 12:30~

**司会者** 谷中 順次郎 会長

### 唱 歌

” 夕焼け小焼け ”  
山本 亘 君



### ゲスト

朝日ヶ丘町内会会長 青木 克次 様

### 出席報告

| 会員数               | 義務免除 | 欠席者数 | 本日出席率  |
|-------------------|------|------|--------|
| 45名               | 2名   | 8名   | 81.40% |
| 8月27日修正出席率 95.35% |      |      |        |
| 8月平均出席率 96.90%    |      |      |        |

### ニコニコ箱

(敬称略)

- ◇朝日ヶ丘町内会会長、青木克次様をお迎えして。  
愛須 勝章、後藤 信博、橋本 隆、本田 耕二  
片井 貢、木村 壽一、小山 實、森本 修至  
佐田 一三、武田 静也、竹村 英一、谷本 司  
上原 俊宏、早稲田 清司、山本 亘、安井 忠雄  
吉本 正美
- ◇青木さんようこそ。本日、卓話宜しくお願いします。  
泉 房次朗
- ◇昨晚、『津軽三味線』の『吉田兄弟』のコンサートに行ってきました。良かったですよ！観客の平均年齢が70歳ぐらいなのは怖かったですね。  
北村 圭司
- ◇一昨日、和歌山県民文化会館にて、歌舞伎の鑑賞に行ってきました。市川猿之助の素晴らしさ！堪能してきました。  
吉田 和枝
- ◇「ニコニコ入れていただきましたよね。」と、まだ入れてないのに聞かれました。新手の集金です。  
やるなあ---。 岩崎 泰人
- ◇先日、吉本さんには大変お世話になりました。  
(蜂を退治してくれました。) 坂本 正人
- ◇先週、ニコニコ忘れました。今回、2回分お願いします。  
岡本 博
- ◇丸山さんの祝賀会、ありがとうございました。  
杉若 雅宣
- ◇丸山さんの祝賀会、盛大で良かったです。  
谷中 順次郎
- ◇先日は、盛大なる祝賀会を開いて頂き、誠に有難うございました。  
丸山 博之

### 会長報告

- 本日のお客様は朝日ヶ丘町内会会長 青木 克次様をお迎えしています。後ほど宜しくお願い致します。
- 9月6日(土)熊野本宮大社において、瑞鳳殿の再建と御社殿修復工事の完了に伴い竣功式が行われました。谷中会長と岡本幹事の2名で出席して参りました。
- R I 第2640地区 2013-2014年度ガバナー事務所より2013-2014年度決算報告書が届きました。回覧しますので、お目通しください。
- 本日例会終了後、定例理事会を開催致します。理事・役員の方はお残りください。

### 幹事報告

- 例会日時変更  
◎串本RC 9月16日(火)→9月16日(火)  
場所: 串本桧野崎トルコ軍艦遭難慰霊碑前  
<エルトゥールル号追悼式典 参加>  
◎高野山RC 9月19日(金)→9月20日(土)  
「広島市土砂災害募金」
- メイクアップ  
◎9月6日(土) 熊野本宮大社 瑞鳳殿の再建と御社殿修復工事の竣功式に 岡本君、谷中君
- 回覧  
◎週報「橋本RC」  
◎「シーカ113号」

- ◎やおき後援会より「やおき後援会へのご更新の御礼」
- ◎和歌山県福祉保健部長より「平成26年度麻薬・覚醒剤乱用防止運動の実施について」
- ◎米山梅吉記念館より「御礼」
- ◎ロータリーの友事務所より  
「『ロータリーの友』英語版“THE ROTARY-NO-TOMO”  
2014-2015年度版 11月中旬発行」
- ◎地区大会事務所より  
「国際ロータリー第2640地区 地区大会  
「地区大会記念チャリティーゴルフ大会開催」のご案内を頂きました。今年は10月25日(土)・26日(日)に本会議、10月20日(月)に記念ゴルフ大会です。  
参加申込表を回覧します。宜しくお願いいたします。」
- ◎直前ガバナー事務所より  
「2013-2014年度決算報告書」 「直前ガバナーから地区大会選挙人決議順守のお知らせ」

## プログラム

朝日ヶ丘町内会会長

青木 克次 様



人と動物との共生について

### 《心の絆を人と動物の福祉へ》

人は大昔から様々な動物を家畜として飼養し、その長い歴史の中で動物との絆を培ってきた。今、その絆はお互いの心の交流という形で私たちの暮らしの中で大きな位置を占めつつあります。

動物が私たちにかけがえのない大切なものを与えてくれることを正しく認識し始めたからです。そして、私達も動物にとってかけがえのない存在でなければならないことに気づき始めたといえるでしょう。

お互いの絆を大切にすると人も動物も共に幸福になろう。お互いのふれあいによる相互作用が生み出す効果を人と動物双方の福祉に結び付けよう。人と動物の絆(ヒューマン・アニマルボンド)という考え方です。

一方的に可愛がる対象ではなく、人と社会の中で生活を共にする仲間として、ペットではなくコンパニオン・アニマルという呼び名に変わってきています。人の心と健康の為に役立ってくれることを正しく認めたくて家族の一員として共に暮らす動物達のことです。

### 《人と動物との係わり》

犬の祖先はオオカミであり、数千年前の石器時代、人はすでに犬を飼っていました。

最初に家畜化したのが犬で人と暮らす多くの動物の歴史は犬から始まっている。

ヨーロッパや中近東で最初に家畜化され、人類が新天地を求めて世界中へ広がっていった時も犬は一緒であった。

やがて人の生活の変化に伴ない品種改良がおこなわれるようになり、牧羊犬、狩猟犬、警察犬、盲導犬、介助犬等、人々にとって欠かせないパートナーとなっている。しかし、どんなに品種改良を重ねても犬の中に脈々と続いている習性があり、それがオオカミから受け継いだ基本的な習性です。

### 《しつけが大事》

犬が社会の一員として認められるには周囲に迷惑を掛けない『しつけ』が必要です。人間社会で暮らすルールを身につける。それが『しつけ』です。

離乳期(生後50日～5か月頃)を過ぎて外の世界を知り、次第になじんでいきます。これが社会化の過程です。人と共生するための社会化を身につけていく時期の育て方次第で犬の性格が決まることになります。非常に重要な時期といってもよいでしょう。

### 《犬がもたらす生きがいと健康》

子供たちに『生命の大切さ』を体験させるチャンスである。

- ①優しさや小さいものへのいたわりが自然に芽生える。
- ②素直に愛情表現ができるようになり心を開くことが自然に身につく。
- ③生命の大切さと生きることの素晴らしさを実感できる。

### 《お年寄りに犬がもたらす生き甲斐と健康》

- ①散歩に出掛ければ社会との接点生まれる。
- ②散歩が外出のきっかけとなり、運動量が増え、心身共に健康になる。
- ③愛情を注ぐ対象がそばにいたことが素晴らしい『生き甲斐』となる。

### 《まとめ》

動物愛護は私達一人ひとりが動物と暮らす生活の中で育む文化の一部であり、動物とふれあいを通して、『生命の大切さ』、心豊かな子供達を育む環境(人と動物が共生する潤いのある社会)づくりが大事であります。

動物愛護は自ら動物を飼育することではなく、動物を理解し、動物と社会に対して責任を負うことではないでしょうか。

堀会員よりお花を頂きました。

「檜扇の種と芙蓉の花」

いつも有難うございます。

